

令和5年6月5日（月）朝礼

一羊館施設長 桑原英眞

新型コロナ5類になって約1か月が経って

このメモは3日前の金曜日に書いておりますが予定通りに行って6/5（本日）のCOVID-19抗原検査の結果がすべて陰性ならば、通常の状態に戻りますのでその予定でのお話のメモです。

1か月前の5月の連休明けにはもしかしたら第9波が来るかもしれないと思っていましたがもうその心配はなさそうです。

当館にとってはこの2週間で、一般棟のみですが、10名を超える新型コロナ抗原の陽性者が出て保健所に報告する事態になってしまいましたが世間ではそれほどではなかったようで心配は杞憂に帰したようです。

ただ今後も発生は、「くすぶり続ける」でしょう。

今回の当館の発症者の中では味覚・嗅覚障害が軽度出た方が1名いましたがその他は後遺症なく済みそうです。

新型コロナ感染症自体の危険度は世間ではこれまでもただの風邪だという人もいました。しかし数日前にもニュースになりましたようにオミクロン株でさえも、極めて稀ですが小児の急性脳症の31例の分析報告がでましたように、万が一のリスクはありますから頭の片隅に置いて対処するのが賢明な対応でしょう。インフルエンザさえも極めてまれに急性脳症で死亡することもありますのでから普通の風邪でないことは自明でしょう。インフルエンザも普通の風邪とは区別されています。その点では世間の情報に左右される必要はありません。

今後、普通のカゼに移行するかもしれませんが半年1年2年はかかりますので、日常の家庭生活はコロナ発生前の生活にもう戻っても問題ないと思いますが、介護業務としては、しばらくはその前提で業務に当たる必要があるでしょう。

自分の体調や周りの人の状況の変化に気付いた時は早めのホウ・レン・ソウに心がけましょう。

「ホウ・レン・ソウ」そして「三人寄れば文殊の知恵」、「多職種協働」を心がけていればそれ以上の心配は不要です。そして当館の基本姿勢と行動指針は下記のとおりです。

